



2003 ~ 2004 年度
R I テーマ

Lend a Hand 手を貸そう

四つの重点分野：貧困・健康・識字・ロータリーファミリー

Lend a Hand

国際ロータリー会長 ジョナサン B・マジリアベ(国籍・ナイジェリア カノ)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ トキ八別府店 7F ぼたんの間
TEL 23-1111
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
〒874-0931 FAX (0977) 23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail:beppu4rc@fat.coara.or.jp

理事	森 宗明	理事	鳴海淳郎	役員	会長	後藤 隆	SA A	中島澄人
"	村津忠久	"	溝部 仁	副会長	森 宗明			
"	後藤健介	"	椛田健治	幹事	小川雅代			
"	河村貴雄			会計	岩尾昭治			

VOL . 16 - 46
2004年6月29日

第 734 回 例会

編集 中島 澄人

点 鐘 12:30

R . S . 別府中央RCの歌

唱 歌 てるてる坊主

出席報告

委員長 佐藤 民子

本日 の 出 席	会 員 総 数	24 名
	出 席 者	14 名
	事前メイクアップ	1 名
	理 事 会 承 認	1 名
	出 席 免 除	0 名
欠 席 数	出 席 率	60.87 %
	前々回の訂正	
6/15	出 席 率	82.61 %
	事後メイクアップ	4 名
	理 事 会 承 認	1 名
	出 席 免 除	0 名
	修 正 出 席 率	100 %

連 続 11 回
通 算 669 回 100 %

・メイクアップ

事前 村津(大分臨海)

事後 後藤(健)、平野、椛田、吉富(別府東)

欠席 後藤(健)、岩尾、椛田、河村、木村、梅津、小川、溝部

2 . 6月19日(土) 18:30~ ホテル白菊 浜菊に於いて「ソフトボール大会記録誌発行委員会:反省会」が開催され、当クラブを代表して森宗明会員が出席されました。

3 . 6月20日(日) 12:00 ~ 亀の井ホテルに於いて「大分県インターアクト新旧連絡協議会」が開催され、当クラブの新世代委員長 森 宗

会長の時間

会長 後藤 隆

とても不安な気持ちで迎えたこの年度でしたが、皆様に支えられ、ご協力いただきながら、なんとか無事に終えることができました。自身で立てた今年度の目標は、ほとんど達する事ができませんでしたが、大きなトラブルも無く、文字通り大過無く過ごせたことに、内心ほっとしています。私にとって会長職はとても大きなストレスでしたが、終わってみれば楽しかったことばかりが記憶に残っていて、良い思い出になりそうです。この1年間を支えていただいた皆様に心より感謝いたします。次年度には森会長・上妻幹事が持てる力を遺憾無く発揮され、別府中央ロータリークラブが隆盛を極められるように祈りながら感謝のご挨拶といたします。1年間ありがとうございました。

幹事報告

幹事 小川 雅代

- ロータリー親睦活動月間 -

...本日は、今年度最後の例会となります。...

1 . 本日の卓話

『退任挨拶』 後藤 隆会長



明会員（今年度）、吉富今男会員（次年度）が出席されました。

4. 6月21日（月）12：30～竹の井ホテルに於いて「別府市内4RC新会長・幹事会」が開催され、次年度会長 森 宗明会員、次年度幹事 上妻 浩会員が出席されました。

5. お祝い

配偶者お誕生日 森 北実さん
（6月30日）

6. 次週の予定

「2004～2005年度 役員就任挨拶」
森 宗明会長、後藤健介副会長、
上妻 浩幹事、岩尾昭治会計、
梅津ヤヨイSAA

7. 本日の回覧

豊後高田RC 週報

8. 本日の配布

週報 733号
「別府近隣7RC親睦ソフトボール大会
20周年記念誌」
「手続要覧について」・「公式名簿について」
(R情報委員長：鳴海淳郎)

スマイルボックス 委員 森 宗明

後藤会長

やっと苦行が終わります。皆様のご協力に心より感謝いたします。ありがとうございました。

鳴海会員

今年度最後の例会にあたり、会長・幹事のご苦勞に深謝しつつ、スマイル・ボックスを弾みます。

今年度は私にとって極めて充実した一年でした。

先ず、わたしのホーム・ページに《ロータリー探究》を開設し、毎週の更新を重ねて既に150回が過ぎました。また、クリニック・レポートは100回に近く、あと1ヶ月で3周年を迎えます。

とくにAPUの学生、薬品会社の注目するところとなり、研修に招かれた薬品会社は既に6

社となりました。そのうち、特に乞われてロータリーの話（私の主張する職業奉仕の話）をしたある会社の支店では、その成績が下位の方から全国で3位になったという報告をうけ、非常に嬉しく思いました。

また、当クラブ創立15周年を記念して《ロータリー物語》の改訂版を出版しましたが、来年のロータリー100周年を前に大変いい記念になりました。お陰様でマスコミにも取り上げられ、特にテレビの取材を受け、綺麗なビデオテープまで作っていただくなど、記念すべきことでした。

また、関西国際大会にクラブの皆さんと一緒に参加することができ、私にとりましては、忘れることのできない親睦とインスピレーションの絶好の機会でした。

ここに、すべてに感謝して、スマイル致します。

平野会員

今日は最後の後藤会長の御尊顔を拝見し、卓話聞けずに早退させていただきます。また、スマイル目標達成おめでとうございます。

吉富会員

会長、幹事さん、本当に最後の最後ですね。御苦勞様でした。私事ですが、新年度の新世代委員長、自分なりに頑張ってみます。

大島会員

会長、幹事、お疲れさまです。先週出席できませんでしたので。

薬真寺会員

後藤会長、小川幹事、いよいよ最終日を迎えましたね。本当に、ご苦勞様でした。これからも、ご指導お願いいたします。

近藤会員

後藤会長、一年間お疲れ様でした。私を気持ちよく入会させていただき、ありがとうございました。今日は早くから来てなごりおしそくに会長の席をあたためていましたネ。うれしさ半分、寂しさ半分の会長にスマイル。

佐藤会員

後藤会長の最後の挨拶さびしくなります。いい笑顔が出来ることと思います。

上妻会員

今年度もいよいよ今日の例会が最後です。次年度は幹事の大役を務めさせていただきます。よろしくお願い致します。



土谷会員

今期最後の例会、後藤会長お疲れ様でした。次年度会長の森さん頑張ってください。

村津会員

海軍兵学校の2期先輩、安武丑生先生（大分安武産婦人科院長）の葬儀に参列の為、例会を欠席致します。

今期最後の例会スマイルに委員長長欠席で申し訳なし。みなさん奮ってスマイルの程御願い申し上げます。お詫びしてスマイル。

森会員

105万円にあと1000円！...出します。

卓 話

『日露戦争百周年に想う』

後藤 健介

バルチック艦隊

バルチック艦隊東征の途へ

欧州正面のロシア艦隊は、主力をバルト海、一部を黒海及び各水域に展開させていた。これらの艦隊を集結し極東正面に送り、旅順艦隊と戦力を合体させ、東郷指揮下の聯合艦隊を撃破し、日本海の制海権を握り日本陸軍を満州に孤立させ日干しにしようという案が、ロシアの専制君主ニコライ二世の君臨するペテルブルグの宮廷で持ち上がった。



バルチック艦隊司令長官
ロジェストウェンスキー少将

バルチック艦隊が編成され、その司令長官に皇帝の寵臣ロジェストウェンスキー少将が任命された。1904年（明治27年）10月15日、バルチック艦隊はバルト海のリバウ軍港を出航した。その陣容は、戦艦7隻、巡洋艦8隻、駆逐艦9隻、特務艦8隻合わせて40隻、兵員1万2千名からなる大艦隊である。艦隊の目指す全航路は1万8千海里（約4万km）、地球を半周する大航海である。

バルチック艦隊が東征の途についた10月中旬の時点、満州の大平野では日露両軍主力が激突し死闘を繰りひろげていた。また、旅順艦隊を陸地側から攻撃し、撃滅しようとする乃木第3軍は鉄壁の旅順要塞の総攻撃2回に及んだが、いずれも膨大な損害を出し失敗に終わった。旅順要塞を陥し旅順艦隊を撃滅するのが先か、バルチック艦隊が来航するのが先か、日本の大本営にとっては、まさに尻に火をつけられギリギリと焙りあげられているような状態であった。

バルチック艦隊はリバウ軍港を出航後、大西洋を一路南下、アフリカ大陸西岸沿いに針路をとり、アフリカ大陸の南端希望峰を廻りアフリカ大陸東方に浮ぶマダガスカル島のノシベ湾に錨を下ろし、スエズ運河を経由し追求してくるネボガトフ少将率いる第3艦隊（老朽艦船主体）を待った。バルチック艦隊が大航海を続けている期間は、南半球は夏季である。酷暑と荒浪に翻弄され艦隊の乗組員は焦熱地獄の苦しみであった。特に焦熱のノシベ湾には大艦隊を収容できる港湾施設がなく、漁港に毛の生えた程度の港湾しかなく、港町には乗組員が休養できる施設も皆無であった。艦隊は港外に碇泊したまま本国からの命令を待って、約2ヶ月の無為の時間を浪費せざるを得なかった。艦隊の士気は沈滞し、規律は乱れに乱れた状態に陥った。

一方、この2ヶ月間の時間は東郷艦隊にとっては天佑と云ってよく、起死回生のチャンスとなった。1月3日に旅順要塞は開城され、旅順艦隊は陸上からする砲撃により港内で狙い撃ちされ潰滅した。

東郷艦隊は約10ヶ月に及ぶ旅順港封鎖を解き、佐世保、呉の軍港に帰還し、全艦船の大修理と乗組員の休養の時間をとり、バルチック艦隊の来航に備える態勢に移れるようになったのである。

3月16日、再び大艦隊は東進への航海に就いた。灼熱下のインド洋を約20日間かけて横断し、マラッカ海峡を通り抜けたのは4月5日であった。4月8日には、極東への最後の曲り角ともいべきシンガポール沖を通過し、4月13日にはカムラン湾（旧ベトナム）沖合に到着した。カムラン湾では、日本の同盟国である英国の干渉を受け、湾内に所在する港湾の利用は許されず、湾内を漂泊するような状態で遅れに遅れて追求してくるネボガトフ艦隊を待つことになる。

5月9日、待ちに待ったネボガトフ艦隊が本隊に合流した。バルチック艦隊はこの湾でまた1ヶ月の時間を無為に浪費することになった。

バルチック艦隊は何処へ

バルチック艦隊が、神と皇帝（ツアー）の意志をもって日本を懲らしめるべく、この湾を出たのは5月14日の朝であった。

このアジアの海域に出現した史上最大の艦隊の規模は、ネボガトフ艦隊と合流したために総数50隻、排水量は合計して16万2百トン、兵員数1万5千名という巨大な数字にふくれあがった。新たに合流したネボガトフ艦隊は老朽艦船であり、バルチック艦隊の統一した艦隊運動からみると足手まといの存在であるが、その主力艦5隻の装備する大口徑17門の大砲は大きな戦力となった。



カムラン湾を出航したのちのバルチック艦隊の動静に関する情報が、日本の大本営にぱったりと入らなくなった。

大本営も聯合艦隊司令部もその全機能を挙げてバルチック艦隊の捜索にあたったが杳として行方が知れない。

前に述べたように、バルチック艦隊の東征の戦略目的は東郷艦隊と遭遇することなく、ウラジオストックに駆け込み、以後、そこを根拠地として、日本本土と満州大陸間の海上交通路を制扼することである。東郷艦隊と遭遇しても、つとめて損害を回避しつつ主力をもってウラジオに直行することであった。バルチック艦隊のウラジオストックへの進路は3つのコースが想定された。

その1は、対馬海峡を通過し、日本海を北上しウラジオへ直行する最短のコースである。

その2は、太平洋に廻り、日本列島沿いに北上し、津軽海峡を通過してウラジオへ到るコース。

その3は、太平洋廻りで宗谷海峡を経てウラジオへ到るコースである。

日本の聯合艦隊は4月以降、朝鮮半島の南東岸、鎮海湾を根拠地としてバルチック艦隊の来航を迎えつつ態勢にあったが、バルチック艦隊の進路は聯合艦隊、大本営はいかに及ばず全国民が関心を集中させた。特に現場の最高指揮官である東郷司令長官以下の聯合艦隊司令部、就中作戦参謀秋山真之中佐は、悩みに悩みその脳漿を絞り尽くしてバルチック艦隊の進路の偵知をしようとしていた。

聯合艦隊は、片岡七郎中将が指揮する第3艦隊の巡洋艦を主力とする約20隻が、それぞれに哨戒担任区域を密度高く巡航し、敵が対馬コースに出現する場合にはやく発見しようとした。

ほかに「附属特務艦隊」というものがあった。台中丸を旗艦とする大小の汽船24隻で編成され、東支那海全体の哨戒任務にあたっていた。このうちの1隻が信濃丸である。ここから場面は冒頭の「敵艦見ゆ」に戻って行く。

日英同盟とバルチック艦隊

明治35年(1902年)、日露開戦の2年前、日本と英国の間に日英同盟協約が調印された。翌年、上海において日英両国の軍事使節団によって軍事協定が締結されたが、その詳細については現在にいたるも公開されていない。陸軍参謀本部日誌にも「福島少将以下上海へ出張仰せつけられる」と記載されているのみである。しかし日露戦争全般を通じて陸海の軍事作戦を振り返ってみると、当時七つの海を制覇し世界に覇を唱えていた英国の影響力を随所に見ることができる。今回

は、バルチック艦隊の東征に関する事項にのみ絞って述べてみたい。

石炭補給と英国海軍の干渉

当時の艦船は石炭が燃料である。石炭を焚いて蒸気をつくり、蒸気によって動力を得る蒸気機関であった。艦船用の石炭の中でも最良のものは英国産の無煙炭であった。日本の聯合艦隊は同盟国の誼で英国から輸入した無煙炭を使用することができた。一方、バルチック艦隊は1万8千海里に及ぶ大航海中の全艦船への石炭補給をドイツの石炭会社に請負わせていた。ドイツの石炭会社は、バルチック艦隊の東征航路上の港に石炭輸送船を先廻りさせて寄港する艦隊に石炭を補給するという契約である。

ドイツの石炭会社は英国産無煙炭を購入しようとしたが、英国に拒否された。そこで、ドイツ産の石炭を補給することにしたが、燃費効率が悪い上、煙突から吐き出す煤煙は敵艦の好目標になり、更には機関に炭殻が堆積し機関故障、出力低下の原因となった。バルチック艦隊の航海も後段に入ると補給される石炭は粉炭混じりの粗悪品となった。更に石炭補給を予定する港湾の使用を妨害された。アフリカ大陸西岸沿いに点在する港湾はロシアと同盟関係にある独仏の植民地が多いのであるが、独仏両国に対する中立国義務の遵守を求める日本の執拗な抗議と英国の外交圧力干渉が大きく影響した。このためバルチック艦隊は予定寄港地に到着しても港湾内の碇泊は許可されず、兵員の休養のための上陸も拒絶された。石炭補給船から艦船への石炭積み込み作業も波浪の高い外洋で実施せねばならなかった。

航路が東南アジア海域に入っても同様であった。玄関口のシンガポールは英国の東洋支配の牙域である。仏領インド支那(ベトナム)のカムラン湾はフランスの植民地であるが、その使用は許可されなかった。

当時の艦船乗組員にとって、石炭積み込み作業は最も辛い作業であった。灼熱の太陽照りつける下での人力作業による石炭の積み込みである。兵員は素裸で作業をしたが炭塵のため頭髮はボマードで固めたように逆立ち、口耳鼻は勿論肺の中まで真っ黒になる有様であった。あまりの作業の苛酷さに兵員は「早く東郷の弾に当たって死にたい」と叫び出す始末であった。

また、寄港先々のバルチック艦隊の動静は英国海軍の出先機関によって逐一日本側へ通報された。ボクシングの試合にたとえるならば、日本選手には名セコンドがついている上観客の大半が日本の応援団であり、一方のロシア選手はセコンドなしでリングに上がらざるを得ない状態であった。